

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

須河車体株式会社における

照明設備更新事業

排出削減事業者名：須河車体株式会社

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人 低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	須河車体株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	須河車体株式会社
住所	京都府綴喜郡宇治田原町郷之口馬廻り1番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業 共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

須河車体株式会社における照明設備更新事業

2.2 排出削減事業の目的

省エネルギーによる温室効果ガス削減およびコストダウンを目的として、照明設備をLED照明に更新する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

139個の水銀灯と150本の蛍光灯を消費電力の少ないLED照明に更新することによって電力消費量を抑え、温室効果ガス排出量を削減する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2012年 12月 26日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年 4月 1日 ~ 2017年 12月 25日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
006	照明設備の更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
照明設備	照明稼働時間	定格消費電力

4.2.2 活動量の採用根拠

一日の稼働時間は就業規則(8:00~17:00)9時間から昼休み45分を除いた8時間15分(8.25時間)とする。今回のクレジット認証期間中の日数は675日。(2015年度と2016年度と2017年度の事業者の営業日カレンダーより)

4.3 事業の範囲(バウンダリー)

本事業のバウンダリーは須河車体株式会社の工場、事務所内に設置された照明設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある 場合、) 変更理由
<i>R_{BL}</i>	事業実施前の電力使用量の原単位	kW	65.45	カタログ値より算出	
<i>R_{PJ}</i>	事業実施後の電力使用量の原単位	kW	15.474	カタログ値より算出	
<i>T_{PJ}</i>	事業実施後の活動量	h	5,569	一日の点灯時間は就業規則による 9 時間から昼休み 45 分を除いた 8.25 時間、年間稼働日数は 250 日間。今回の認証期間中の稼働日数は 675 日間。(2015 年度、2016 年度、2017 年度の事業者カレンダーより) 稼働日数については毎年事業者より営業日カレンダーを入手する。	
<i>CO₂F_{electricity}</i>	電力の二酸化炭素排出係数 (限界電源)	tCO ₂ /kWh	【0 年 ≤ t ≤ 1 年】 0.000531 【1 年 ≤ t < 2.5 年】 0.000531 【2.5 年 ≤ t】 0.000531	J-クレジット制度のデフォルト値 (限界電源) (J-クレジット制度モニタリング・算定規程 Ver.2.9)	

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
86,171 (kWh)	-	0.000531 (tCO2/kWh)	45.8 (tCO2)
EM _{PJ}			45.8 (tCO2)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
364,475 (kWh)	-	0.000531 (tCO2/kWh)	193.5 (tCO2)
EM _{BL}			193.5 (tCO2)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
なし			
LE			

6.4 温室効果ガス排出削減量

ベースライン排出量	(7.2)	EM _{BL}	193.5(tCO2)
事業実施後排出量	(7.1)	EM _{PJ}	45.8 (tCO2)
リークージ排出量	(7.3)	LE	0 (tCO2)
温室効果ガス排出削減量		ER	147 (tCO2)

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン - 実績 (①②)
93.8	22.2	71.6

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。

$$\text{省エネ量} = 93.8(\text{kl}) - 22.2(\text{kl}) = 71.6(\text{kl})$$

9 再生可能エネルギー利用量

該当なし。

	モニタリング期間 (年 月 日 ~ 年 月 日)			
	単位	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	t			